



えんだより



2021年4月
吉野幼稚園

主 題：「新しい出会い」

聖書のことば：「神は愛です」 (ヨハネ第1の手紙4：16)

桜の花をはじめとした、いろいろな花が咲き誇る暖かい春がやってまいりました。コロナ禍の下での新学期となりました。この春の訪れとともに、聖マリア学園 吉野幼稚園にご入園、ご進級した園児の皆さん、ご家族の皆さん、誠におめでとうございます。職員一同、心から歓迎いたします。

さて、私は吉野幼稚園の園長をしております野田弘之と申します。園長になって、やっと2年が経過いたしました。前職との違いが大きく、なかなか慣れない毎日でした。今後とも、一人一人の園児の健全な成長を願って、園の運営に努めてまいりたいと思います。なにとぞよろしくお願いいたします。

吉野幼稚園は、カトリック教会に隣接していることからおわかりのように、キリスト教の愛の精神に基づいて運営されるカトリックの施設です。私どもは、新しく入園した年少さん、進級して年中・年長さんになったよい子の皆さんをしっかりと預かりして、カトリックの「隣人愛」の精神と、モンテッソーリ教育を通して、自分のことも、他者のことも、深く愛することのできる、健康で明るく自立した人格に育てたいと思います。

モンテッソーリ女史によれば、「特に3歳から6歳の間は『敏感期』と呼ぶべき特殊な時期で、この時期の子どもたちは、何でも自分でやってみようとする、自分でやって失敗し、何度も挑戦して最後にはできるようになる。この繰り返しの中で、ものを理解し、手足の機能を高め、人間としての大事な自信を身につけ、人格が形成される。」ということです。

子どもが自分一人で何かする時には近くでじーっとみつめていて、必要な時に丁寧に、ゆっくり教えてあげることが重要です。「あせり」は禁物です。

園の教育と、家庭での教育が一体となって、すばらしい御子を育ててまいりましょう。

【園長 野田弘之】

4月のねらい

- Aグループ・最年長児として自覚をもち園生活のルールを守り、友だちや年下の子に関わる
- Bグループ・進級した喜びと期待感をもち自分のことは自分でしようとする
- Cグループ・入園の喜びを持って元気に登園する